

株式会社片岡製作所

サステナビリティ報告書

2024

京都から世界へ



目次

- P2 トップメッセージ
- P3 会社概要
- P4 社是・経営基本方針
- P4 品質方針
- P4 環境方針
- P5 事業内容
- P6 レーザ加工システム
- P8 二次電池検査システム
- P9 ライフサイエンス
- P10 コーポレートガバナンス
- P11 取締役構成及びスキルマトリックス
- P12 SDGs 持続可能な開発目標
- P13 環境への取り組み

トップメッセージ



代表取締役会長 片岡 宏二

片岡製作所は社是である「我社は、誠実な心を持って信頼される製品を生産し、社会に貢献すると共に、社業の恒久的発展をはかり、会社および株主・全従業員の繁栄を追求する。」をもとに1968年の創業以来、レーザテクノロジーを中核として、さまざまな産業分野における製造設備の開発、設計、製造、据付け及びサービス提供を行ってまいりました。当社の事業の特長は、すべて社会に必要とされる成長分野であり、マーケットが無限に広がっている点です。他社にはできない高品質な「レーザ加工システム」は、世界有数の大手メーカーからも高く評価され、成長市場のニーズに応えています。EV(電気自動車)用リチウムイオン電池等の「二次電池検査システム」は、トータルプランを提案できる唯一のメーカーとして、飛躍的に拡大する市場において大きな期待が寄せられています。またレーザ技術とAI(人工知能)技術を応用した「細胞プロセシング装置」は、iPS細胞を大量培養する際に発生する不要細胞の高速除去を可能にし、再生医療や創薬の発展に大きく貢献していきます。



代表取締役社長 西 則男

当社の独自技術は、「誠実さ」を基本に製品の企画、設計、製造のプロセスの中で品質を高めながら培ってきました。また、開発テーマを決める際には、「日本一、世界一になれるのか」を判断基準とし、全社一丸となって新市場や価値を創造しています。当社の活動が評価され、2020年には経済産業省認定「グローバルニッチトップ企業100選」に選定されました。これからもグローバルニッチトップ戦略により、世界のスタンダードを創り出していきます。また当社では環境方針にある「地球との共生」「人と環境に優しい社会」を目指し、LD励起による高効率・省エネルギーのレーザ加工システム、放電エネルギーを再利用する回生電源システムにより大幅に節電した二次電池検査システムなど環境に配慮した製品を開発・製造・販売しております。持続可能な開発目標(SDGs)については目標8「働きがいも経済成長も」に取り組み、この会社で働いて良かった、やりがいがあると思える会社にするために、仕事の改善・改革を進めております。

会社概要

社名：株式会社片岡製作所

所在地：京都市南区久世築山町 140

設立：1968年11月14日

資本金：4億8,570万円(2023年4月現在)

代表者：代表取締役会長 片岡宏二

代表取締役社長 西則男

従業員数：210名(2024年4月現在)

事業所

本社：京都市南区久世築山町140

東京支店：東京都中央区京橋一丁目14番9号依田忠ビル6F

先端レーザ研究所：京都市南区久世築山町203-2

先端レーザ研究所(東京分室)：東京都中央区京橋一丁目14番9号依田忠ビル6F

久世工場：京都市南区久世築山町204-1

レーザ工場：京都市南区久世築山町203-2

システム工場：京都市南区久世東土川町17-1

海外拠点

上海片岡貿易有限公司：中国 上海市

KATAOKA Europe S.r.l：イタリア ミラノ市

台湾片岡股份有限公司：台湾 台中市

KATAOKA-SS AMERICA CORP.：アメリカ トーランス市(CA)

ベトナム片岡有限責任会社：ベトナム社会主義共和国 ハノイ市



➤ 中国、台湾、イタリア、アメリカ、ベトナムに営業・サービス拠点を設置。

社是

我社は、誠実な心を持って信頼される製品を生産し、社会に貢献すると共に、社業の恒久的発展をはかり、会社および株主・全従業員の繁栄を追求する。

経営基本方針

1. 相互信頼のもとに明るい職場を作ること。
2. 納期を厳守し、品質の向上に努めること。
3. フロンティア精神を持ち、研究と自己修練に努めること。
4. 正しい計画と実行、謙虚な反省の心を持つこと。
5. 健康を維持し、旺盛な行動力を発揮すること。

社長

品質方針 Quality Policy

1. 常に、「顧客満足」を目的に全ての業務を行う。
2. 各工程において、全ての品質に責任を持つ。
3. クレームは全てに優先して取り組む。
4. 業務はPDCAサイクルを回し、継続的に改善を行う。
5. 社内標準化を推進し、事実に基づくデータによる管理体制とする。
6. 規定・ルールはいかなることがあろうとも厳守する。

環境方針 Environmental Policy

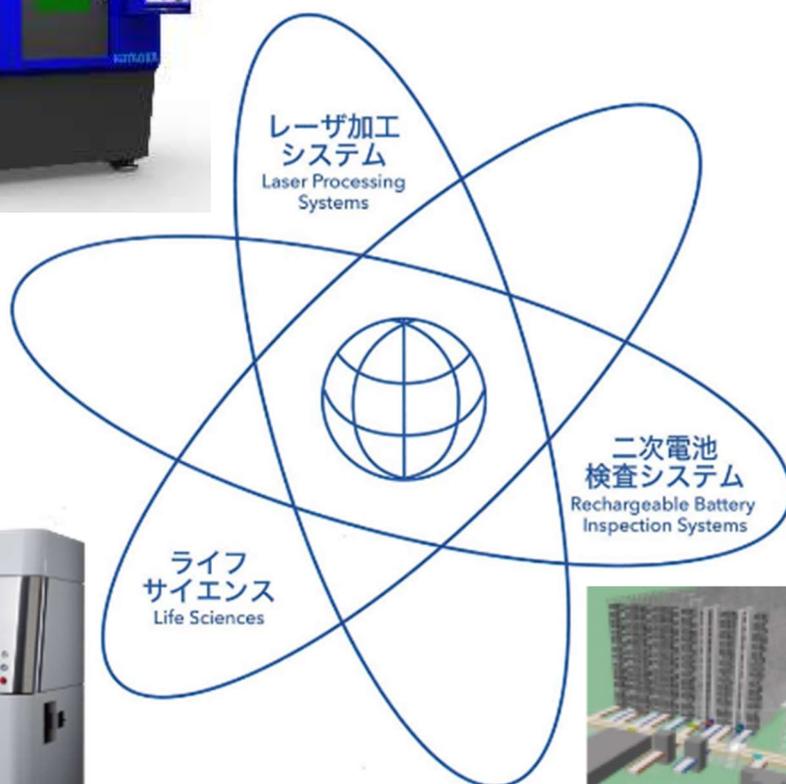
株式会社片岡製作所は「人類共通の願いである地球との共生、環境保護」の実現を目指して行動する。私達は企業活動のあらゆる側面において環境保全に最大の配慮を行うと共に、地域社会との繋がりを大切にして企業活動を推進する。

事業内容

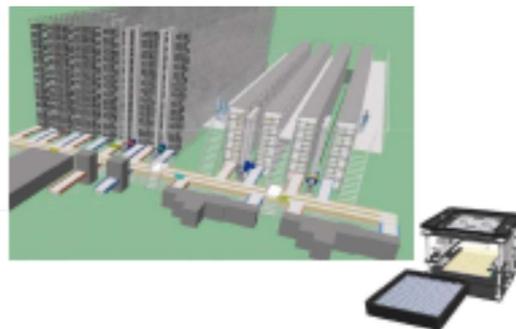
最先端技術をベースに、高度な生産システムを提供します。



発振器をはじめとする5大要素を自社で開発し、最先端のレーザ加工システムを提案します。



iPS 細胞などの細胞培養を自動化するために、不要細胞を AI による識別とレーザによる死滅化を行います。



二次電池の充放電装置、各種検査装置、搬送装置等を含めたトータルシステムを提案します。

レーザ加工システム



◎ 標準シリーズから専用機まで、1つのシステムとして、開発・設計・製作
 様々な顧客ニーズに柔軟に対応可能！

レーザシステムを構成する発振器・光学システム・機械技術・制御技術・加工技術を全て自社で保有しており、トータルシステムを構築します。

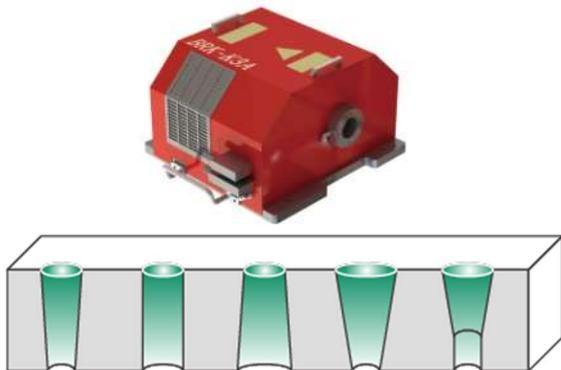
最先端のレーザ加工技術で、超精密穴あけ、銅溶接、電子回路のパターニング、フィルム基材の切断等、お客様の多様な要望にお応えします。

超精密穴あけ装置では
 ビームローテータにより
 回転半径と入射角を制御し、
 多様な穴形状を実現します。

図. 超精密穴あけ装置



図. 自社製ビームローテータ



標準テーパ穴 ストレート穴 逆テーパ穴 順テーパ穴(大) 特殊テーパ穴

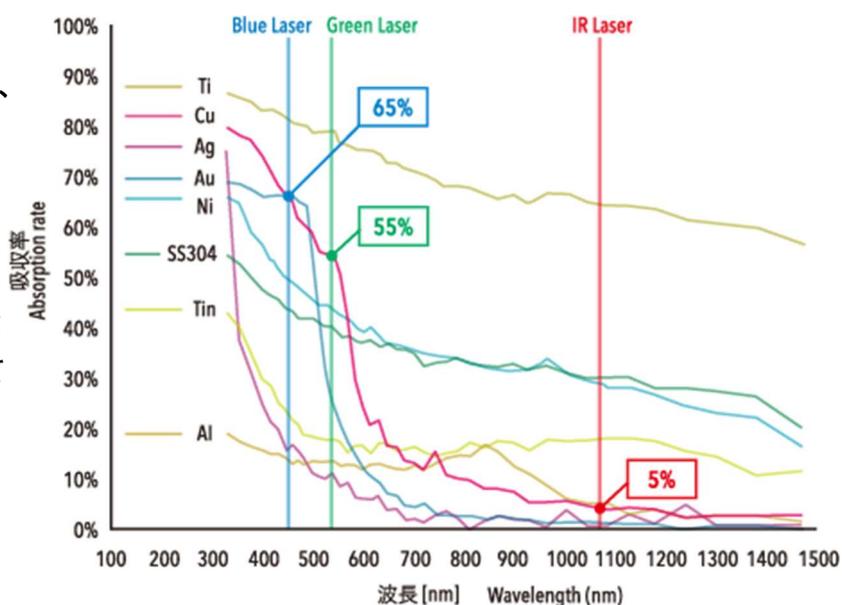
ペロブスカイト太陽電池レーザーパターニング装置では最小 20 μm の加工幅と独自の補正技術による高精度に制御された加工位置でデッドエリアを最小化し、発電効率の向上に寄与しています。

図. ペロブスカイト太陽電池レーザーパターニング装置外観

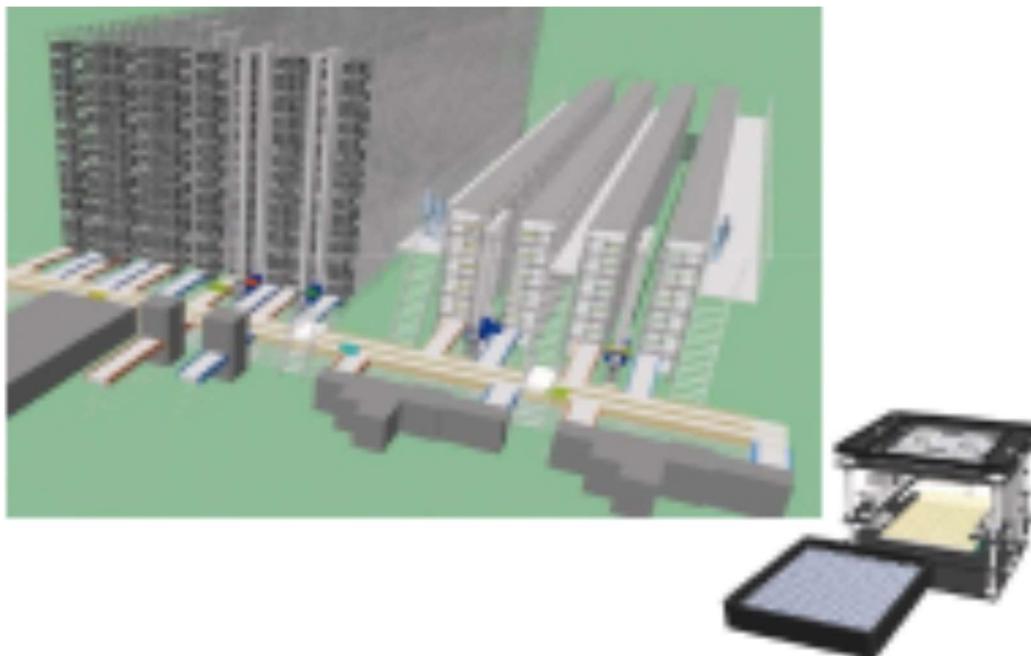


青色レーザー溶接装置では銅に対する吸収率が65%と高い青色レーザーによって、より深い溶け込みとスパッタフリーで安定した溶接を実現しています。レーザー加工は複雑微細な加工が金型なし、さらに薬品処理なしででき、環境負荷のきわめて少ない加工方法です。

図. 光の波長と物質ごとの吸収率



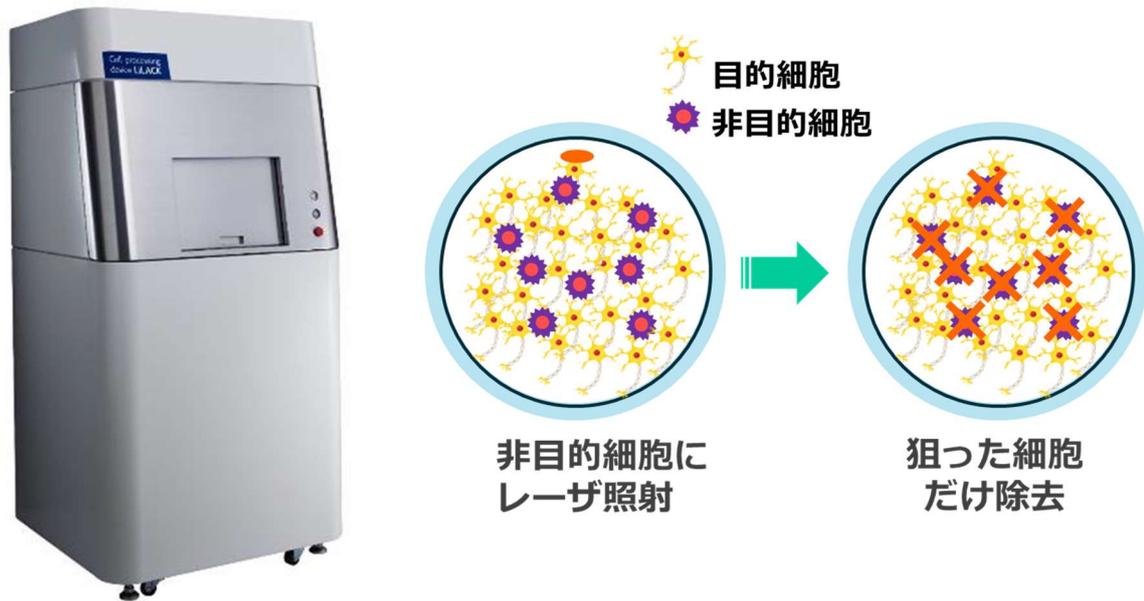
二次電池検査システム



二次電池の製造工程において電池組立後の充放電及び各検査工程を一貫したシステムとして設計製作をしています。電池組立後の重要な充放電工程、エージング工程、電圧検査工程、抵抗検査工程、選別工程、及び全工程を自動搬送する搬送装置をお客様の工場レイアウトに対するサポートを含めてトータルシステムをご提案します。本システムを製作する為に必要な要素技術である「電源技術」、「コンピュータ技術」、「計測技術」、「機械技術」、「制御技術」を全て社内で構築して、システムとして重要な「高い安全性」、「高い信頼性」を有しています。

また、あらゆる電池形状や容量に対するシステムをご提供します。

ライフサイエンス



近年、再生医療や創薬研究等において高い純度を保った特定の細胞を製造することのニーズが高まっています。

接着細胞の純化方法としてセルソーター等の既存技術がありますが、ソーティング時の細胞へのストレスや作業者間の技量差、スループット等の課題がありました。

当社が開発した細胞プロセッシング装置(Model:CPD-017)は、培養容器の底面にコーティングした光応答性ポリマーにレーザー照射し、光応答性ポリマーの光熱変換を利用して不要細胞を致死させます。

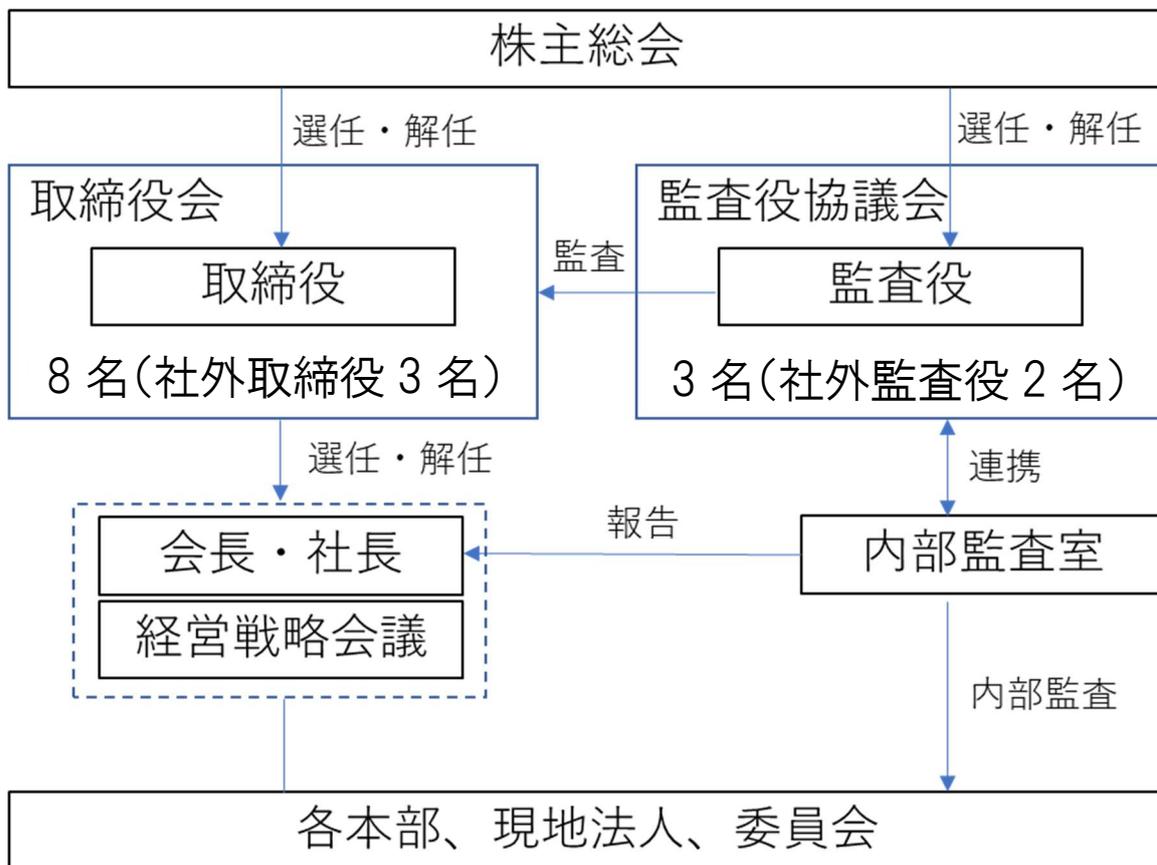
また細胞を識別する手段としてAI技術の一つであるDeep Learningを搭載する事でラベルフリーかつ正確で再現性のある細胞識別を可能としており、細胞除去技術を組み合わせる事で、いつでも、誰でも、簡単に細胞を純化する事が可能です。

光応答性ポリマーは、レーザーの照射エネルギーを効率よく熱に変換でき、対象細胞を効率的に除去します。

また周辺の細胞を含む培養系全体への影響を最小限に抑えることができるため、処理速度と精度が飛躍的に向上しています。

- ・細胞染色や細胞解離などの細胞準備や前処理が不要で、いつでも使用する事が出来る。
- ・処理対象の周囲の細胞に影響を与えない。
- ・細胞解離せずに培養を継続しながら細胞純化が可能。

コーポレートガバナンス



1) 社外取締役・社外監査役の導入

2018年4月より社外取締役、2019年4月より社外監査役を加え、コーポレートガバナンスの強化に努めております。

2) 不正行為の予防・早期発見

不正行為の予防・早期発見のためコンプライアンス相談窓口を設置し、社員からの相談を受け付けております。窓口は2か所あり、社内か社外の弁護士を選ぶことができます。通報者の秘密は守られ、保護されます。不正行為に対しては迅速に対処し、再発防止策を講じます。

3) CSR委員会

代表取締役会長がCSR責任者を務めており、CSR委員会の中でコンプライアンス相談窓口に通報・相談された事案の調査結果の検討、および必要な処置の検討を行います。その他にもCSR委員会ではCSR、リスク管理、コンプライアンス、ハラスメント等に関する基本方針、計画、対応について話し合います。

取締役構成及びスキルマトリックス

当社では多様な経験・知見を持つ8名の取締役(3名の社外取締役を含む)、3名の監査役(2名の社外監査役を含む)を選任しております。

当社における地位 氏名	企業 事業経営	技術 研究開発	財務 会計	法務 コンプライアンス	人事労務 人材開発	営業 マーケティング	品質 環境
代表取締役会長 片岡宏二	●	●	●	●	●	●	
代表取締役社長 西則男	●	●			●	●	
取締役 片岡宏也	●		●	●	●		
取締役 岡田徹	●					●	●
取締役 上夷真二	●	●					
社外取締役 大宮正	●		●			●	
社外取締役 村山昇作	●		●			●	
社外取締役 中川雅治	●						●
監査役 辻勝樹	●		●				
社外監査役 東伏見慈晃	●		●				
社外監査役 村田晃嗣	●			●	●		

Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標

1. 当社のメインポリシー

持続可能な開発目標	当社の影響
 <p>働きがいも経済成長も</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府ワークライフバランス推進宣言企業 ・グローバルニッチトップ企業として革新的製品の開発製造販売 ・京都市3R優良永年認定事業所として地球環境への配慮 ・最高70歳までの再雇用制度 ・GLTD制度（団体長期障害所得補償保険）

2. 当社の活動

持続可能な開発目標	当社の影響
 <p>貧困をなくそう</p>	<p>寄付活動 DC制度（確定拠出年金）</p>
 <p>全ての人に健康と福祉を</p>	<p>革新的製品開発 細胞プロセッシング装置 定期健康診断の実施 インフルエンザ予防接種の実施 災害時の安否確認システム導入 災害時の備蓄食料の確保</p>
 <p>質の高い教育をみんなに</p>	<p>寄付活動 京都モノづくりの殿堂 学校インターンシップの協力（小・中・高・大） 工房学習を育む会への加入 奨学金返済支援制度</p>
 <p>ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>一般職の廃止（男女平等の職場） 小学校3年生までの育児時短勤務及び子の看護休暇</p>
 <p>安全な水とトイレを世界中に</p>	<p>職場環境改善</p>
 <p>エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>太陽電池製造装置開発製造 2次電池製造装置開発製造 グリーン調達 省エネ装置開発製造</p>
 <p>住み続けられるまちづくりを</p>	<p>割れ窓理論実践活動 周辺美化活動</p>
 <p>つくる責任 つかう責任</p>	<p>安全・高品質・長寿命の製品造り 廃棄物のリサイクル推進</p>
 <p>気候変動に具体的な対策を</p>	<p>ISO14001による環境マネジメント</p>

環境への取り組み

1)CO2 排出量の集計結果

[tCO2eq]

項目	56 期 (2023 年 2 月～2024 年 1 月)	55 期 (2022 年 2 月～2023 年 1 月)
CO2 総排出量	101,823	72,850
SCOPE1	31	23
SCOPE2	600	517
SCOPE3	101,191	72,310
1. 購入した製品・サービス	19,531	17,953
2. 資本財	422	135
4. 輸送、配送(上流)	38	5
5. 事業から出る廃棄物	26	11
6. 出張	30	31
7. 雇用者の通勤	69	70
11. 販売した製品の使用	81,066	54,095
12. 販売した製品の廃棄	9	10

54 期より SCOPE3 による CO2 排出量の集計を始めております。その結果、最も多くの CO2 を排出しているのは 3 期連続で「11. 販売した製品の使用」でした。特に 56 期は電力の消費量が多い充放電検査システムが活況であったため、55 期と比べて CO2 排出量が増加しております。

上記の充放電検査システムにつきましては、当社では今期の環境目標として製品の環境負荷の削減を掲げて、設計段階での重量、フットプリント、電力の削減に取り組んでいます。

2)新本社・研究開発センターの建設

当社では建設中の新本社・研究開発センターにおいて積極的に屋上緑化や太陽光発電機を屋上に配置するなどCO2削減を実現し、環境へ配慮した取り組みを積極的に行い、周辺地域と調和した良好な景観の形成に努めます。

また、隣地から建物をセットバックさせることで空が見える範囲を大きくとり、周囲に対する圧迫感を軽減します。敷地北側には地域の憩いの場となる広場を計画し、建物周辺を緑化すると共に、敷地東側には遊歩道を計画し、良好な住環境や地域の子どもたちをはじめとする歩行者の交通安全に配慮します。

地域や社外との交流を促進するための企業ミュージアム、講堂、地域の防災拠点となる防災倉庫の新設や一次避難場所を確保した整備計画としています。

株式会社片岡製作所
〒601-8203 京都市南区久世築山町140
Phone (075)933-1101
<https://www.kataoka-ss.co.jp>